

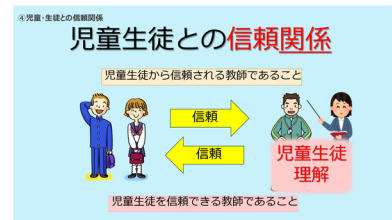
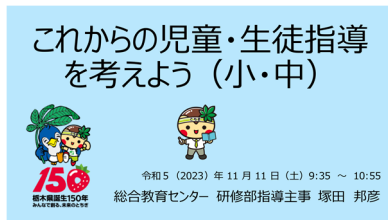
令和5（2023）年度 第14期 とちぎの教育未来塾

第14期生 106名

第2日〔令和5（2023）年11月11日（土）〕

講話・研究協議「これからの児童・生徒指導を考えよう（小・中）」

栃木県総合教育センター研修部指導主事 塚田 邦彦



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆ 普段の児童・生徒指導を振り返り、思い込みや先入観で児童のことを決めつけてしまっていたことに気づき、児童の言動の背景には何があるのかを理解しようとするのが大切であると再確認することができました。児童との信頼関係を築き、児童たちのこれからのために支える指導ができるようになりたいと思います。

【学生等】

- ◆ 児童・生徒指導は、あらゆる教育活動の場面で、すべての児童生徒のために行うものであり、よりよい学校生活やこれからの人生に関わる大事なものであるということを理解することができました。他の受講者の考えや意見から、児童・生徒指導に当たって、信頼関係の構築でどのようなことをすると良いかを改めて考え直すことができました。

講話・研究協議「これからの生徒指導を考えよう（高）」

栃木県総合教育センター研修部指導主事 星野 利明



受講後の振り返りから

【現職】

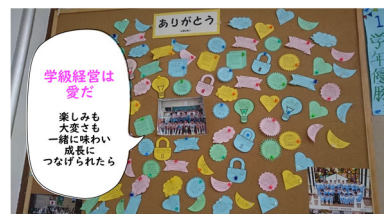
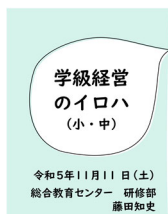
- ◆ 今は副担任として、クラスでの主な生徒指導は服装検査くらいであり、関わる機会が少ないと感じていました。しかし本日の内容から、生徒が社会の中で自分らしく生きることができるよう「すべての生徒に」「すべての場面で」「すべての先生が」支援していくということが生徒指導だということを再確認し、関わり方を見直していこうと思いました。他の先生方としっかり情報共有して指導に当たりたいです。

【学生等】

- ◆ 生徒指導について、「生徒指導提要」を基に、現場の先生方と協議することを通して、多様な視点を得られ、理解を深めることができました。生徒が社会の中で自分らしく生きることができるように支援していきたいです。効果的な働きかけとなるよう、日頃から子ども達と信頼関係を築けるようにしたいです。

講話・研究協議「学級経営のいろは（小・中）」

栃木県総合教育センター研修部指導主事 藤田 知史



受講後の振り返りから

【現職】

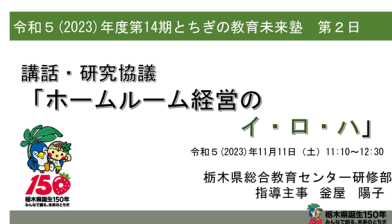
- ◆ 今までの学級経営を振り返り、どのような手立てが必要なのかを考えることができました。共に認め・励まし合い・支え合う集団づくりを目指していきたいと思えます。教師は、児童生徒の発達を支える立場であることを意識し、児童生徒同士でよりよい集団を作れるように伴走者として関わっていきたく思います。

【学生等】

- ◆ 学級経営において、立てた目標・ルールがすべてうまくとは限らないため、その中で、自分ができるとや生徒の状況に合わせて、どう進めていくべきなのかを考えていくことが何よりも重要なことだと気づきました。子どもたちが「明日も来たい！」と思えるようなクラスづくりができるようになりたいです。

講話・研究協議「ホームルーム経営のいろは（高）」

栃木県総合教育センター研修部指導主事 釜屋 陽子



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆ 協議の際の企業に勤める方や大学生の意見が、とても参考になりました。やりたいことが見つからない生徒との相談の経験はありました。自分の経験だけでなく、様々な視点からアドバイスできるようにしたいと思いました。生徒に寄り添うことを忘れずに、柔軟に対応できるようにしていきたいです。

【学生等】

- ◆ ホームルーム経営について、初めてじっくりと考える機会となり、大変有意義でした。実際にホームルーム担任としての場面を演じることは緊張しましたが、自分がどのようなホームルーム経営をしたいのかを考えることができました。クラス全員が来たいと思えるようなホームルーム経営を目指したいと思えます。